

2015年5月12日

各位

会社名 東京センチュリーリース株式会社
代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
(コード番号 8439 東証1部)
問合せ先 広報IR室長 松原 健志
(TEL03-5209-6710)

2015年3月期 決算の概要について

本日発表の2015年3月期決算について、その概要をお知らせいたします。

記

1. 2015年3月期 決算の概要

- ・ 2015年3月期は、昨年度より「真の総合ファイナンス・サービス企業」を目指してスタートさせた第二次中期経営計画（3ヵ年）の2年目にあたり、更なる「営業基盤の強化」と「経営基盤の強化」に向けた取り組みを推進いたしました。
- ・ 「リース事業の競争力強化」としては、株式会社オリエントコーポレーションと物品販売会社との提携リース事業を専門とする合弁会社を設立することを決定いたしました。
- ・ 「ファイナンス事業の強化」としては、米国大手金融・リース会社である **CIT Group Inc.** をパートナーとして航空機リース事業の共同展開を開始し、米国とアイルランドに合弁会社（連結子会社）を設立しました。本合弁事業は、当社の航空機ビジネスを一層成長させるプラットフォームとなります。
- ・ 「海外ビジネスの拡大」としては、情報通信機器を中心に取り扱う米国の独立系リース会社最大手である **CSI Leasing, Inc.** の株式の35%を取得し、持分法適用関連会社といたしました。これにより、アジアに強い当社グループに北米、中南米、欧州に強い **CSI Leasing, Inc.** のプラットフォームが加わり、グローバルネットワークが飛躍的に広がることとなります。
- ・ 「国内外におけるオート事業の取り組み強化」としては、台湾現地法人の統一東京股份有限公司の100%出資子会社として、中国にオートリース会社統盛融資租賃有限公司を設立いたしました。
- ・ 「経営基盤の強化」としては、継続的に無担保社債（社債間限定同順位特約付）を発行するとともに、タイ現地における資金需要増に応えるべく、**TISCO Tokyo Leasing Co., Ltd.** がパーツ建無担保普通社債を発行するなど、資金調達の多様化による財務基盤の強化を推進いたしました。
- ・ 事業の成果としては、契約実行高が前期比4.6%増加の1兆4,740億70百万円、営業保証を含む営業資産残高は前期末比10.1%増加の2兆9,142億円となりました。
- ・ 損益面につきましては、昨年度、期中で連結子会社とした日本カーソリューションズ株式会社の増収・増益などにより、売上高は前期比6.6%増加の8,829億76百万円、営業利益は同13.7%増加の584億43百万円、経常利益は同10.0%増加の606億68百万円、当期純利益は同3.3%増加の341億32百万円となりました。経常利益は合併初年度より6期連続、当期純利益は4期連続で過去最高益を更新いたしました。

2. 財務ハイライト（連結）

（単位：億円）

	2014/3期	2015/3期	前期比		2015/3期	期初予想
			前期比(額)	前期比(率)		
売上高	8,285.6	8,829.8	544.2	6.6%	8,600	102.7%
（契約実行高）	14,094.5	14,740.7	646.2	4.6%		
営業利益	514.2	584.4	70.3	13.7%	563	103.8%
経常利益	551.7	606.7	55.0	10.0%	570	106.4%
当期純利益	330.5	341.3	10.8	3.3%	333	102.5%

	2014/3末	2015/3末	前期末比	
			前期末比(額)	前期末比(率)
総資産	28,847.7	31,518.7	2,671.0	9.3%
（うち現預金）	798.4	705.6	-92.8	-11.6%
営業資産残高	26,467.8	29,142.0	2,674.1	10.1%
純資産	2,854.8	3,365.4	510.5	17.9%
自己資本比率	8.8%	9.3%	0.5pt	—
ROA（総資産経常利益率）	2.1%	2.0%	-0.1pt	—
ROE（自己資本当期純利益率）	13.9%	12.5%	-1.4pt	—

※ 営業資産残高には営業保証を含みます。

3. 損益の状況（連結）

（単位：億円）

	2014/3期	2015/3期	前期比	
			前期比(額)	前期比(率)
売上高	8,285.6	8,829.8	544.2	6.6%
売上原価	7,312.3	7,593.0	280.7	3.8%
資金原価	91.8	104.3	12.5	13.6%
売上総利益	973.3	1,236.8	263.5	27.1%
販売費及び一般管理費	459.1	652.4	193.2	42.1%
うち貸倒費用	-0.7	-10.6	-9.9	—
営業利益	514.2	584.4	70.3	13.7%
営業外損益	37.5	22.3	-15.3	-40.7%
経常利益	551.7	606.7	55.0	10.0%
特別損益	-1.0	-9.6	-8.6	—
税金等調整前当期純利益	550.7	597.1	46.4	8.4%
当期純利益	330.5	341.3	10.8	3.3%

4. 営業資産残高と資金調達の状況（連結）

（単位：億円）

	2013/3末	2014/3末	2015/3末	前期末比	
				前期末比(額)	前期末比(率)
営業資産残高	22,766	26,468	29,142	2,674	10.1%
リース	14,739	17,839	19,150	1,311	7.3%
割賦	2,016	2,137	2,394	257	12.0%
ファイナンス	6,011	6,424	7,478	1,054	16.4%
その他	—	68	120	52	77.5%
総資産	24,658	28,848	31,519	2,671	9.3%
自己資本	2,223	2,524	2,929	405	16.0%
自己資本比率	9.0%	8.8%	9.3%	0.5pt	

有利子負債	19,392	22,117	24,199	2,082	9.4%
コマーシャル・ペーパー	6,489	7,393	7,546	153	2.1%
MTN	297	365	516	151	41.5%
社債	950	1,421	1,577	156	11.0%
債権流動化	547	660	616	-45	-6.7%
短期借入金	3,407	4,152	4,702	549	13.2%
長期借入金	7,702	8,126	9,242	1,116	13.7%
短期調達比率	54.9%	55.9%	53.6%	-2.3pt	
直接調達比率	42.7%	44.5%	42.4%	-2.1pt	

※ 営業資産残高には営業保証を含みます。

5. 契約実行高の状況（連結）

（単位：億円）

	2013/3期	2014/3期	2015/3期	前期比(率)
契約実行高	11,788	14,094	14,741	4.6%
リース	5,910	6,905	6,887	-0.3%
割賦	985	1,120	1,061	-5.3%
ファイナンス	4,893	5,999	6,735	12.3%
その他	-	70	57	-17.5%

6. 2016年3月期 連結業績予想および配当予想

- ・ 2016年3月期の連結業績予想は、売上高9,100億円（前期比3.1%増）、営業利益620億円（同6.1%増）、経常利益640億円（同5.5%）、当期純利益365億円（同6.9%増）といずれの項目も過去最高を見込んでいます。
- ・ 当期の配当金につきましては、当期の業績に鑑み、2014年11月4日に公表いたしました前期比1株当たり12円増配の年間64円から、さらに1株当たり1円増配し年間65円とさせていただきます。
- ・ なお、次期の配当金につきましては、株主の皆様からのご支援にお応えするべく、当社の利益還元方針に基づき、前期比1株当たり5円増配の年間70円（中間配当35円、期末配当35円）とさせていただきます。

（単位：億円）

	2015/3期	2016/3期 予想		
		前期比(額)	前期比(率)	
売上高	8,830	9,100	270	3.1%
営業利益	584	620	36	6.1%
経常利益	607	640	33	5.5%
当期純利益	341	365	24	6.9%

1株当たり当期純利益	322.84円	345.94円	23.10円	7.2%
年間配当金	65.00円	70.00円	5.00円	7.7%
配当性向	20.1%	20.2%	—	—

※ 本資料には現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来予測数値が含まれますが、実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご留意下さい。

以上